

○日本医科大学学則

(昭和30年4月1日規程第1号)

一年一月一日規程第一号

第1章 総則

(目的・使命)

第1条 日本医科大学(以下「本学」という。)は、学術の中心として広く知識を授けるとともに、深く医学及び医療健康科学を研究教授し、知的道徳的応用的能力を展開させ、人々の健康に貢献することを目的とする。

2 前項の目的を達するために、広く医学及び医療健康科学を世界に求め、高い倫理観、人間愛及び克己殉公の精神を備えた医療人を育成することを使命とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、自己点検委員会を設置し、本学における教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 自己点検委員会の組織等に関する事項については、別に定める。

(組織)

第3条 本学に、学部及び大学院を置く。

2 学部及び学部に置く学科は、次のとおりとする。

(1) 医学部医学科

(2) 医療健康科学部看護学科

3 大学院に関する学則は、別に定める。

(収容定員)

第4条 収容定員は、次のとおりとする。

(1) 医学部医学科 入学定員 110名、総定員 660名

(2) 医療健康科学部看護学科 入学定員 120名、総定員 480名

(修業年限・在学年限)

第5条 修業年限は、次のとおりとする。

(1) 医学部医学科 6年

(2) 医療健康科学部看護学科 4年

2 在学年限は、前項の規定する修業年限の2倍を超えることはできない。

- 3 同一学年の在学年限は、原則として2年とする。ただし、学長が特別の事情があると認める者については、教授会の審議を経て、1年に限り延長を認める。

第2章 授業の方法並びに授業科目、授業時間及び単位数

(授業の方法)

第6条 本学の授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(授業科目)

第7条 医学部医学科の授業科目、授業時数及び単位数は、別表1に定めるところによる。

- 2 医療健康科学部看護学科の授業科目、授業時数及び単位数は、別表2に定めるところによる。
- 3 本学における学科目は別表3に定めるところによる。

第3章 履修方法及び修了・卒業の認定

(履修方法・授業日数・単位の計算方法)

第8条 授業科目の履修は、別表1及び別表2に従い、所定の授業日数(又は単位数)を履修するものとする。

- 2 各年次の授業日数は、学年末試験、臨床実習期(医学部医学科)又は臨地実習期(医療健康科学部看護学科)を含み、年間37週を原則とする。
- 3 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については、15～30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15～30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験・実習及び実技については、30～45時間の授業をもって1単位とする。

(授業科目修了の認定)

第9条 授業科目修了の認定は、その科目の目標において求める知識、技能、態度等の修得の程度の評価に基づき、教授会の審議を経て、学長がこれを決定する。

- 2 前項の評価は、試験及び実習における観察等によって行う。
- 3 成績の評価は、秀・優・良・可・不可の5種類とし、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。

(秀 90点以上、優 80点以上、良 70点以上、可 60点以上、不可 59点以下)

- 4 各授業科目(臨床実習又は臨地実習を除く。)の受験資格は、その授業科目の規定の授業時数(講義と実習の合計時数)及び実習時数のそれぞれについて3分の2以上出席した者に与える。
- 5 必修科目に受験資格のない者は、その授業科目を再び履修しなければならない。
- 6 臨床実習生又は臨地実習生となるための資格については、別に定める。
- 7 前各項に定めるもののほか授業科目の履修については、別に定める。

(他大学等での履修認定)

第10条 教育上有益であると認めるときは、本学の定める国内外の他の大学、病院又は本学が認める関連施設において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学において修得したものと認定することができる。

(卒業の認定)

第11条 医学部医学科においては、第5条第1項第1号に定めた修業年限以上在学し、全ての授業科目修了が認定され、総合試験に合格した者に対して、学長は教授会の審議を経て卒業を認定する。

2 医療健康科学部看護学科においては、第5条第1項第2号に定めた修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修の上、所定の単位数を修得した者に対して、学長は教授会の審議を経て卒業を認定する。

(卒業証書及び学位の授与)

第12条 卒業の認定を受けた者は、教授会の審議を経て、学長が卒業証書及び学士の学位を授与する。

2 前項の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

- (1) 医学部医学科 医学
- (2) 医療健康科学部看護学科 看護学

3 本学において授与する卒業証書・学位記の様式は、別記様式1及び別記様式2のとおりとする。

第4章 学年・学期及び休業日

(学年・学期)

第13条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終了するものとし、これを次の学期に分ける。

(1) 医学部医学科

第1学期 4月1日から8月31日まで

第2学期 9月1日から12月31日まで

第3学期 翌年1月1日から3月31日まで

(2) 医療健康科学部看護学科

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第14条 休業日(授業を行わない日)及び休業期間(授業を行わない期間)は次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する日

(3) 本学の創立記念日 4月15日

(4) 春季休業

医学部医学科 3月21日から4月7日まで

医療健康科学部看護学科 4月1日から4月7日まで

(5) 夏季休業

医学部医学科 7月19日から8月31日まで

医療健康科学部看護学科 8月15日から9月30日まで

(6) 冬季休業

医学部医学科 12月21日から翌年1月4日まで

医療健康科学部看護学科 12月25日から翌年1月5日まで

2 前項に定める他、学長は臨時の休業日を定めることができる。

3 学長が必要と認めるときは、休業日及び休業期間を変更することがある。

第5章 入学・休学・退学

(入学時期)

第15条 入学は学年の始めとする。

(入学資格)

第16条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

(9) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(転入学)

第17条 他の大学医学科又は看護学科の学生で、その大学長の許可を得て、本学に転入学を希望する者は、欠員のある場合に限り、試験の上入学を許可することがある。

(入学の出願)

第18条 本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の受験料及び別に定める書類を添えて指定の期日までに願出しなければならない。

(入学選考)

第19条 入学の選考は、学力及び人物について行う。

(入学手続)

第20条 入学の選考に合格した者は、指定の期日までに、誓約書、保証書、卒業証明書、住民票その他所定の書類を提出するとともに、入学金及び第30条による学費を納付しなければならない。

2 入学金は、次のとおり定める。

(1) 医学部医学科 1,500,000円

ただし、令和8年度入学者から適用する。

(2) 医療健康科学部看護学科 400,000円

3 既納の入学金は返還しない。ただし、所定の選抜区分において、所定の期日までに入学辞退を申し出た場合は、既に納めた入学金の一部を返還する。

4 既納の学費は返還しない。ただし、所定の期日までに入学辞退を申し出た場合は、既に納めた学費を返還する。

5 第1項の手続をしない者は、入学を許可しない。

(入学許可)

第21条 前条の手続を完了した者は、教授会の審議を経て、学長が入学を許可し、学籍に登録する。

(住所・姓名変更)

第22条 学生及び保証人が住所等を変更した場合は、直ちに届出なければならない。

2 学生が姓名を変更した場合には、住民票記載事項証明書を添えなければならない。

(休学)

第23条 疾病その他止むを得ない事由により、2ヵ月以上修学することができない者は、休学願に保証人連署の上、その事由を証明する書類を添えて学長に願い出るものとし、許可を得なければならない。

2 疾病その他の事由により修学することが不相当と認められる者に対しては、学長は休学を命ずることがある。

(休学期間)

第24条 休学は2年以内とする。ただし、前条第2項の場合に限り、更に1年を限度として延長することができる。

2 休学期間は通算して4年以内とする。

3 休学期間は在学期間に算入しない。

(復学)

第25条 休学期間中にその事由が消滅して復学しようとする者は、復学願に保証人連署の上学長に願い出るものとし、許可を得なければならない。ただし、当該休学が疾病による場合は医師の診断書を添えなければならない。

(退学)

第26条 退学しようとする者は、退学願に保証人連署の上学長に願い出るものとし、許可を得なければならない。

(再入学)

第27条 退学した者で、再入学を願い出る者は、学長が原学年又はそれ以下に再入学を許可することがある。

(除籍)

第28条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 成業の見込みのない者
- (2) 第5条第2項又は第3項に定めるの在学年限を超えた者
- (3) 第24条第1項又は第2項にそれぞれ定める期間を超えて、なお復学できない者
- (4) 学費の納入を督促された後、30日以上納付しない者
- (5) 1年以上行方不明の者
- (6) 死亡届が提出された者

(転学)

第29条 他の大学へ転学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第6章 学費

(学費)

第30条 学生が納付しなければならない学費は、次のとおりとする。

- (1) 医学部医学科 授業料、施設整備費
 - (2) 医療健康科学部看護学科 授業料、施設整備費、実習費
- (金額・納付時期・学費の額の変更)

第31条 学費の金額は、次のとおり定める。

- (1) 医学部医学科
授業料 2,500,000円(年額)
施設整備費(第1学年) 500,000円(年額)
施設整備費(第2学年以降) 1,000,000円(年額)
ただし、令和8年度度入学者から適用する。
- (2) 医療健康科学部看護学科
授業料 1,050,000円(年額)
施設整備費(第1学年) 250,000円(年額)
施設整備費(第2学年以降) 350,000円(年額)
実習費(第2学年以降) 400,000円(年額)

2 学費の納付時期は、別に定める。

3 学則その他の規定に特別の定めのある場合を除き、既納の学費は返還しない。

4 在学中、学費について変更があった場合には新たに定められた金額を納付するものとする。

5 学年の中途において卒業する見込みの者の納付する学費の取扱いは、別に定める。

(特待生の学費)

第32条 入学試験の成績が特に優秀で、人物に優れている者を特待生として、学費の一部を免除することができる。

2 特待生に関する事項は別に定める。

(休学中の学費)

第33条 休学中の者についての学費は減免することがある。

2 学費の減免については、別に定める。

(退学者の学費)

第34条 退学する者は、その年度における学費を納付しなければならない。

第7章 聴講生

(聴講生)

第35条 本学所定の授業科目のうち1科目又は数科目について聴講を希望する者がある時は、教育研究に支障がない限り、学長が、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関する取扱いは別に定める。

第8章 公開講座

(公開講座)

第36条 本学に公開講座を設けることがある。

第9章 賞罰

(表彰)

第37条 品行、学業ともに優秀な者を、表彰することがある。

2 表彰に関する事項については、別に定める。

(懲戒)

第38条 学則その他の規定に違反し、又は学生としての本分にもとる行為ありと認められるものは懲戒に処する。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 懲戒の手続きについては、別に定める。

第39条 表彰及び懲戒は、学長がこれを行う。

第10章 職員組織

(職員組織)

第40条 本学の職員組織として学長、副学長、学部長、学科長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員その他必要な職員を置く。

2 職員組織の職制及び定員に関しては、別に定める。

第11章 教授会

(教授会)

第41条 学部に、教授会を置く。

2 教授会は、学長、副学長及び当該学部教授をもって組織する。

3 教授会は、学長がこれを招集し、その議長となる。

(役割)

第42条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学及び卒業

(2) 学位の授与

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長又は学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(教授会規則)

第43条 教授会の運営に関する規則は別に定める。

(大学協議会)

第44条 本学に、大学協議会を置く。

2 大学協議会の運営に関する規則は別に定める。

第12章 厚生補導

(厚生補導)

第45条 学生の厚生補導に関する事項を取扱うために学生部を設ける。

第13章 学則の改廃

(学則の改廃)

第46条 本学則の改廃は、学長を経て、理事会の議決を必要とする。

付 則

この学則は、昭和30年4月1日より施行する。

昭和41年4月1日 一部改正(学部の入学定員80名から100名に変更した)

昭和49年4月1日 一部改正(学部の実習費を設定した)

昭和54年1月10日 一部改正(学部の授業料、実習費、施設整備費を学費としてスライド制を導入した)

昭和57年1月10日 一部改正(学部の教育充実費を設定した)

昭和60年4月1日 一部改正(全面的に見直した)

昭和62年4月1日 一部改正(受験資格の取扱いを一部変更した)

ただし、第9条第3項第1号の改正規定は、昭和62年度入学者から適用し、昭和61年度以前の入学者は従前のおりとする。

平成2年4月1日 一部改正(講座を新設し、講座の名称を一部変更した)

平成3年4月1日 一部改正(授業料等のただし書きを挿入した)

平成3年7月1日 一部改正(大学設置基準、学位規則の改正等により一部改正した)

ただし、第6条、第14条、第18条及び第29条の改正規定は平成4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。(大学設置基準の改正により自己評価等を設定した)

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。(ただし、基礎科学の所定単位については平成元年度以前の入学者は従前どおりとする。入学手続上の戸籍抄本を住民票に変更した。また第7章外国人学生全文を削除した)

附 則

この学則は、平成6年11月1日から施行する。(日本医科大学組織規則制定により、医学部主任から医学部長に職名を変更した)

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。(学則の改廃は理事会の承認から議決を必要とするに変更した)

附 則

この学則は、平成8年4月1日から施行する。(姓名変更上の戸籍抄本を住民票記載事項証明書に変更した。また第35条第3項の懲戒を退学に変更した)

附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。(基礎科学における所定単位を変更した。また教育充実費を6年間の分納に変更した)

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。(基礎科学における所定単位を変更した。ただし、基礎科学の所定単位については、平成10年度以前の入学者は従前どおりとする。)

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 第5条第3項の改正事項は、平成13年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。(基礎科学における所定単位を変更した。ただし、基礎科学の所定単位については、平成 13 年度以前の入学者は従前どおりとする。)

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。(別表 1 の 3・4 年授業時限配当表の診断学・検査医学を基本臨床実習に改め、5・6 年授業時限配当表を新たに作成した。これに伴い、別表 3 のコース名称診断学・検査医学を基本臨床実習に改める。)

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。(別表 1 の 1 年授業時限配当表の選択科目 A の医用物理学を削除し、備考欄に入学試験で「生物」を受験しなかった者は生物系の選択科目(注 5)を履修することとし、欄外(注 5)に生物系選択科目を記載する。)

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。(基礎科学の所定単位については、平成 16 年度以前の入学者は従前どおりとする。)

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。(基礎科学の履修科目数及び所定単位については、平成 17 年度以前の入学者は従前どおりとする。)

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。(基礎科学の履修科目数及び所定単位については、平成 18 年度以前の入学者は従前どおりとする。)

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。(学部の入学定員 100 名から 110 名に変更した。)

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。(学部の入学定員 110 名から 112 名に変更した。基礎科学の履修科目数及び所定単位については、平成 21 年度以前の入学者は従前どおりとする。)

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。(学部の入学定員 112 名から 114 名に変更した。)

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、第7条第2項、第13条第1項の改正規定は、平成26年度入学者から適用し、平成25年度以前の入学者は従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。(学部の入学定員114名から116名に変更した。)

附 則

この学則は、平成29年4月1日から施行する。(学部の入学定員116名から118名に変更した。)

附 則

- この学則は、平成30年4月1日から施行する。(学部の入学定員118名(臨時定員8名含む)から110名(恒久定員)に変更した。)ただし、様式1については平成30年3月1日から施行する。
- 改正後の第4条の規定にかかわらず、平成30年度から平成36年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
入学定員	121	121	110	110	110	110	110
総定員	697	704	700	696	690	682	671

附 則

- この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 第4条の規定にかかわらず、令和2年度から令和8年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	126	126	110	110	110	110	110
総定員	716	728	722	714	703	692	676

附 則

- この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 第4条の規定にかかわらず、令和4年度から令和9年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入学定員	123	110	110	110	110	110

総定員	735	727	716	705	689	673
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

附 則

- この学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、第6条、第10条の改正規定は、令和5年度第1学年から学年進行で適用し、その他の学年については従前どおりとする。
- 第4条の規定にかかわらず、令和5年度から令和10年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
入学定員	125	110	110	110	110	110
総定員	742	731	720	704	688	675

附 則

- この学則は、令和6年4月1日から施行する。ただし、第8条第3項の改正規定は、令和6年度第1学年から学年進行で適用する。
- 第4条の規定にかかわらず、令和6年度から令和11年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	125	110	110	110	110	110
総定員	746	735	719	703	690	675

附 則

- この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 第4条の規定にかかわらず、令和7年度から令和12年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
入学定員	125	110	110	110	110	110
総定員	750	734	718	705	690	675

附 則(一年一月一日規程第一号)

- この学則は、令和8年4月1日から施行する。
- 第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和8年度から令和13年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
入学定員	125	110	110	110	110	110
総定員	749	733	720	705	690	675

別表1

授業時限配当表
[別紙参照]

別表 2

授業時限配当表
[別紙参照]

別表 3

備考

学科目名
[別紙参照]

様式 1

卒業証書・学位記
様式
[別紙参照]

別表2

授業時限配当表

区分		授業科目	必修・選択	単位数	備考	配当年次・時限数				
						1年	2年	3年	4年	
健康科学基礎科目	語学	英語 I	必修	1.0	必修 2単位	15				
		英語 II	必修	1.0		15				
	自然科学と 情報科学	自然科学（物理・化学・生物）	必修	2.0	選択必修 7単位	15				
		AI・データサイエンス入門	必修	2.0		15				
		AI・データサイエンス発展	選択	1.0		8				
		スポーツ健康科学	必修	2.0		15				
		環境と人間	選択	1.0		8				
	人文科学と社会科学	社会学	必修	1.0	必修 3単位	8				
		人間関係論	必修	1.0		8				
		倫理学	必修	1.0		8				
		哲学	選択	1.0	選択必修 1単位	8				
		心理学	選択	1.0		8				
		経済学	選択	1.0	選択必修 1単位	8				
		法学	選択	2.0		15				
		地域社会と医療・健康	選択	1.0	選択必修 1単位	8				
		国際社会と医療・健康	選択	1.0		8				
	導入教育	日本医大入門	必修	1.0	必修 3単位	8				
キャリア教育		必修	1.0	8						
救急医療と災害医療		必修	1.0	8						
		計（卒業要件単位数）		18.0						
医療基礎科目	人体の構造と 機能	形態機能・生理学 I	必修	2.0	必修 26単位	15				
		形態機能・生理学 II	必修	2.0		15				
		生化学	必修	1.0		8				
		免疫学	必修	1.0			8			
	健康障害と治療	成人疾病学	必修	2.0				15		
		小児疾病学	必修	1.0				8		
		母性疾病学	必修	1.0				8		
		老年疾病学	必修	1.0				8		
		臨床心理学	必修	2.0				15		
		臨床病理学	必修	1.0				8		
		微生物学	必修	1.0				8		
		臨床栄養学	必修	1.0				8		
		臨床薬理学	必修	1.0				8		
	健康支援と 社会環境	医療統計学	必修	1.0			8			
		医療情報学	必修	1.0			8			
		公衆衛生学	必修	2.0				15		
		疫学	必修	2.0				15		
		保健統計学	必修	2.0					15	
		看護保健学研究概論	必修	1.0					8	
		計（卒業要件単位数）		26.0						

別表2

授業時限配当表

区分		授業科目	必修・選択	単位数	備考	配当年次・時限数			
						1年	2年	3年	4年
基礎看護学 科目	基礎看護学	看護学概論	必修	2.0	必修 19単位	15			
		看護過程論	必修	2.0			15		
		基礎看護学方法論	必修	1.0		8			
		基礎看護方法演習Ⅰ	必修	2.0		30			
		基礎看護方法演習Ⅱ	必修	2.0			30		
		基礎看護学実習Ⅰ	必修	1.0		15			
		基礎看護学実習Ⅱ	必修	2.0			30		
		臨床アセスメント学	必修	2.0			15		
		看護倫理学	必修	1.0		8			
		家族看護学	必修	1.0		8			
		看護管理学	必修	1.0					8
		医療安全学	必修	1.0			8		
		国際看護学	必修	1.0					8
		創造的看護論	選択	2.0				15	
		計（卒業要件単位数）				19.0			
臨床看護学 科目	成人看護学	成人看護学概論	必修	1.0	必修17単位		8		
		周術期看護学	必修	2.0			15		
		クリティカルケア看護学	必修	2.0			15		
		慢性期看護学	必修	2.0			15		
		緩和ケア看護学	必修	1.0			8		
		成人看護学演習	必修	1.0			15		
		周術期・クリティカルケア看護学実習	必修	3.0					45
		慢性期・緩和ケア看護学実習	必修	3.0					45
		看護のための放射線学	必修	2.0					15
		高度先進医療看護学	選択	1.0					
	精神看護学	精神看護学概論	必修	2.0	必修6単位		15		
		精神看護学	必修	2.0			15		
		精神看護学実習	必修	2.0					30
	計（卒業要件単位数）				23.0				
	母子看護学 科目	母性看護学	母性看護学概論	必修	2.0	選択必修 13単位		15	
母性看護学演習			必修	2.0			30		
母性看護学実習			必修	2.0					30
遺伝看護学			選択	1.0					8
小児看護学		小児看護学概論	必修	2.0					15
		小児看護学演習	必修	2.0					30
		小児看護学実習	必修	2.0					30
		子育て支援看護学	選択	1.0					8
計（卒業要件単位数）				13.0					

別表2

授業時限配当表

区分		授業科目	必修・選択	単位数	備考	配当年次・時限数				
						1年	2年	3年	4年	
老年・地域看護学 科目	老年看護学	老年看護学概論	必修	1.0	必修 15単位		8			
		老年看護学Ⅰ	必修	1.0				8		
		老年看護学Ⅱ	必修	2.0				15		
		老年看護学実習	必修	3.0					45	
	地域・在宅看護学	リハビリテーション看護学	必修	1.0			8			
		コミュニティケア論	必修	1.0			8			
		地域・在宅看護学Ⅰ	必修	1.0				8		
		地域・在宅看護学Ⅱ	必修	2.0				15		
		広域災害看護活動論	必修	1.0				8		
		地域・在宅看護学実習	必修	2.0				30		
	計（卒業要件単位数）					15.0				
	公衆衛生看護学	保健医療福祉行政論	選択	2.0		保健師 コース 必修 13単位			15	
		公衆衛生看護学Ⅰ	選択	2.0					15	
		公衆衛生看護学Ⅱ	選択	2.0					15	
		公衆衛生看護学演習	選択	2.0						30
		公衆衛生看護学実習	選択	4.0						60
		コミュニティケア実習	選択	1.0					15	
	計（卒業要件単位数）					(13.0)				
	看護の統合と実践	多職種連携論	必修	1.0		必修 11単位		8		
多職種連携演習		必修	1.0				15			
救急看護学		必修	1.0				8			
災害看護学		必修	1.0				8			
救急看護学実習		必修	1.0				15			
救急看護実践演習		必修	1.0					15		
看護学統合実習		必修	2.0					30		
看護学統合実践演習		必修	1.0					15		
看護学卒業研究		必修	2.0					30		
計（卒業要件単位数）				11.0						
合計（卒業要件単位数）				125.0						

別表 3

学部	学科目名
医学	<p>基礎科学 生物学、物理学、化学、数学、スポーツ科学、英語、心理学、行動科学、哲学、倫理学、歴史学、文化人類学、法学、国文学、社会学、経済学</p> <p>基礎医学 解剖学（分子解剖学）、解剖学（生体構造学）、生理学（システム生理学） 生理学（生体統御学）、生化学・分子生物学（代謝・栄養学）、 生化学・分子生物学（分子遺伝学）、薬理学、病理学（解析人体病理学）、 病理学（統御機構・腫瘍学）、微生物学・免疫学、衛生学・公衆衛生学、 法医学、医療管理学</p> <p>臨床医学 内科学、精神医学、小児科学、放射線医学、皮膚科学、総合医療学、 リハビリテーション学、外科学、脳神経外科学、整形外科学、 産婦人科学、耳鼻咽喉科学、泌尿器科学、眼科学、麻酔科学、救急医学、 形成外科学</p>
医療健康科学	<p>健康科学基礎、医療基礎・基礎看護学、臨床看護学、母子看護学、 老年・地域看護学</p>

Number

第 号

Nippon Medical School

卒業証書・学位記

hereby confers upon

(氏 名)

(氏 名)

年 月 日生

who has successfully completed the course of
study prescribed by the School the degree of

本学所定の課程を修めて

本学を卒業したことを認め

学士（医学）の学位を授与する

Bachelor of Medicine

(年 月 日)



大醫日
學科本

年 月 日

[signature]

日本医科大学長 (氏 名)

長科日
之大本
印學醫

学 長 氏 名

President of Nippon Medical School

Number

第 号

Nippon Medical School

卒業証書・学位記

hereby confers upon

(氏 名)

(氏 名)

年 月 日生

who has successfully completed the course of
study prescribed by the School the degree of

本学所定の課程を修めて

本学を卒業したことを認め

学士（看護学）の学位を授与する

Bachelor of Science in Nursing

(年 月 日)



大醫日
學科本

年 月 日

[signature]

日本医科大学長 (氏 名)

長科日
之大本
印學醫

学 長 氏 名

President of Nippon Medical School